



平成26年1月17日

## 平成25年中の救急出場件数が過去最高を更新

～ 迷ったら救急相談センター #7119へ ～

昨年中の東京消防庁救急隊の出場件数は749,060件（速報値）で、これまでの最多である平成24年の出場件数741,702件を7,358件（1.0%）上回り、救急業務を開始した昭和11年以来、過去最高となりました。

東京消防庁では、増大する救急需要に適切に対応していくため、救急車の適正な利用、救急相談センターや救急受診ガイドの活用を呼びかける等、都民の安心・安全のための施策に取り組んでまいります。

### 1 出場件数が過去最高を更新（資料1）

平成25年中における東京消防庁救急隊の出場件数は749,060件で、平成24年を7,358件上回り、4年連続で過去最高を更新しました。

搬送された方を年代別で昨年と比較すると、高齢者層で増加が顕著となっており、特に75歳以上の搬送人員は221,061人で、全搬送人員である655,714人の約3分の1（33.7%）を占め、今後も高齢化の進展に伴い救急要請の増加が見込まれます。

年	救急出場件数	前年比
平成23年中	724,436件	23,455件増
平成24年中	741,702件	17,266件増
平成25年中（速報値）	749,060件	7,358件増

### 2 初診時軽症割合の減少（資料2）

救急搬送された方が初診医師により軽症と判断された割合は、平成18年の60.3%をピークに年々減少し、昨年は51.6%となりました。平成19年6月から導入した東京消防庁救急相談センター及び平成24年4月から提供を開始した東京版救急受診ガイド等が、救急車の適正利用に対し一定の役割を果たしたことが推察されます。

### 3 増大する救急需要に対する取り組み

別紙をご覧ください。

問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212—2111  
救急管理課救急情報係 内線 4465  
広報課報道係 内線 2345）

## 増大する救急需要に対する取り組み

### 1 救急車の適正利用に関する広報活動の推進

東京消防庁では現在236台の救急車を運用しております。

限りある社会資源である救急車を真に必要としている方に利用していただくため、各種報道やイベント等のあらゆる機会をとらえて救急車の適正利用に関する広報活動を行っていきます。

### 2 救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの周知・利用促進

平成19年6月に運用開始した東京消防庁救急相談センターの相談件数は年々増加しており、昨年は89,617件（速報値）となりました。

さらに、救急相談センターで培った緊急性や受診の必要性を判定するためのノウハウを活かし、都民自らが緊急性を判断できる「東京版救急受診ガイド」を平成24年4月からウェブや冊子で提供し都民の方々に利用していただいております。（昨年中の総アクセス件数は約9万件）

一方、救急搬送された方が初診医師により軽症と診断された割合は、平成18年の60.3%をピークに年々減少し、昨年は51.6%となったことから、救急相談センターが救急車の適正利用に対し一定の役割を果たしたことが推察されます。

今後とも、救急相談センター及び東京版救急受診ガイドのさらなる周知および利用促進を図っていきます。

### 3 救命講習受講者数の拡大

救急車が現場へ到着するまでの時間が延伸していることから、バイスタンダー（その場に居合わせた人）による応急手当の必要性が一層高まっています。東京消防庁では、応急手当実施のすそ野を広げるために、短時間（90分制）で受講ができる「救命入門コース」を平成24年から導入するなどの対策を実施しています。

※ 平成24年中の除細動（電気ショック）を実施した全傷病者の1ヶ月後の生存率16.1%に対し、バイスタンダーが心停止を目撃しAEDによって除細動を実施した場合の1ヶ月生存率は32.5%と約2倍になっています。

### 4 救急搬送トリアージの推進

救急隊員が救急現場で緊急性が低いと判断された方に対し、自力通院を促す「救急搬送トリアージ」を平成20年4月から本格的に実施しています。昨年は、1,058名（速報値）の方に対し救急搬送トリアージを実施しました。

### 5 救急隊の増強

平成25年度中に救急隊を1隊増強します。

## 東京消防庁救急相談センター

東京消防庁では、増大する救急需要に対し、救急車を真に必要なとする傷病者に適切に対応するため、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。

救急相談センターでは、急な病気やケガなどで「救急車を呼んだ方がいいのかな?」「今すぐ病院に行った方がいいのかな?」など迷った場合に、救急車の利用や自己受診に関するアドバイス、診療可能な病院案内を行っています。医師、看護師、救急隊経験者などの職員が24時間、年中無休で対応しています。

東京消防庁救急相談センター 受付電話番号 #7119  
(携帯電話・PHS・プッシュ回線)

その他の電話からは 03-3212-2323 (23区)  
042-521-2323 (多摩地区)

「病院へ行った方がいいのかな?」迷ったら  
「救急車を呼んだ方がいいのかな?」迷ったら

東京消防庁救急相談センター 24時間対応  
年中無休

# #7119

つながらない場合は…

23区 03(3212)2323  
多摩地区 042(521)2323

病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 急な病気やけがで迷ったら

## 東京版 救急受診ガイド

急な病気やけがの緊急時や受診する目安をパソコンや携帯電話などで検索できる「東京版 救急受診ガイド」のサービスを東京消防庁ホームページで提供中

携帯電話からはこちら 

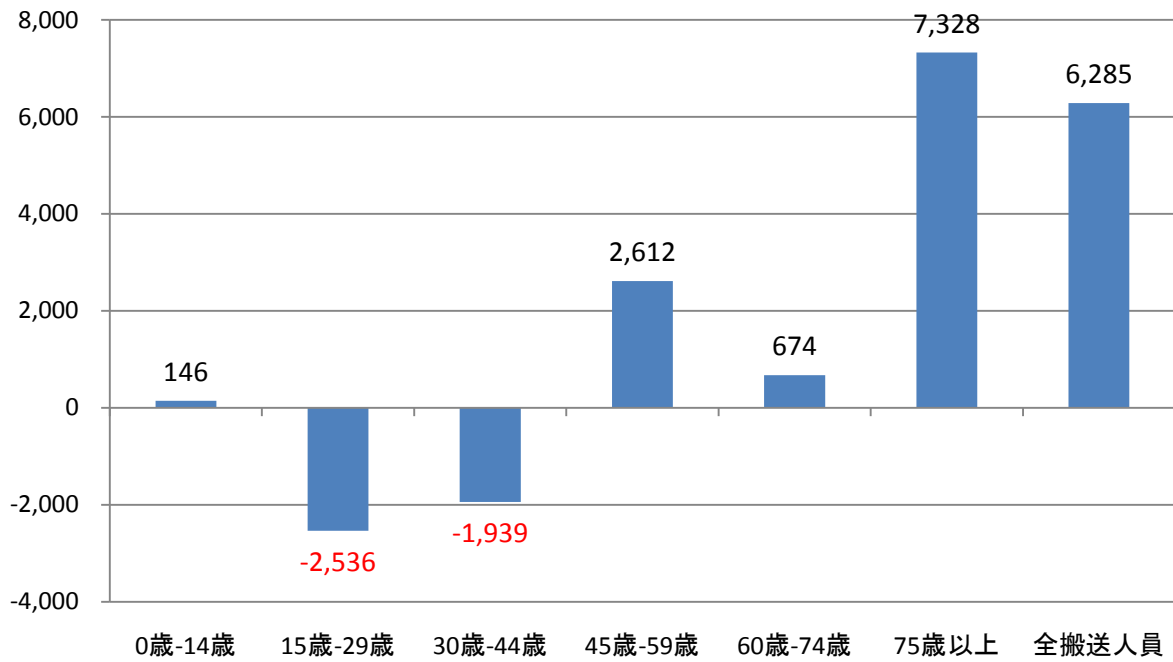
スマートフォンからはこちら 

※旧年版「119救急受診ガイド」でも閲覧できます。詳しくは裏巻きの相談冊子まで

ぜひこのアプリをダウンロードしてください

東京消防庁 救急相談センター #7119

年齢別搬送人員\_前年比較



年代別搬送人員の推移(平成8年～)

